

さいたま市文化財時報

かや
榎りぼーと

第4号

新指定文化財の紹介

さいたま市教育委員会は、3月25日付けて2件の文化財を指定しました。昨年5月1日にさいたま市が誕生して以来、初めての指定となりました。旧浦和、大宮、与野市から引き継がれた指定文化財とこのたびの新指定とをあわせ、さいたま市指定文化財は390件となり、国・県指定を含めた総件数は452件となりました。

有形文化財（考古資料）

松木遺跡出土土偶 1点

この土偶は、平成5年の夏に実施された発掘調査の際に松木遺跡から出土したものです。この発掘調査では、同時に縄文時代早期中葉から後半及び前期後半の土器なども出土しています。



土偶の形状は、手足や頭部は省略され、体の部分だけを単純に表現しているだけで、乳房及び下腹部を誇張しています。下腹部には、細い棒状工具を用いた刺突によってヘソを表現しており、その上部には、縦に二つ

割りした竹状の工具により二本一組の沈線がやや斜めにひかれています。また、乳房の下にも輪郭に沿って、細く、鋭い沈線がひかれています。胎土（本体を形作っている粘土）には砂粒が多く含まれ、全体的にやや赤味を帯びた橙色を呈しています。遺構からの出土ではありませんが、腹部にひかれた沈線の特徴・胎土・周辺からの出土土器などから、縄文時代前期後半の諸磯b式土器に伴うものと考えられます。

土偶は一般に破片で発見されることが多い中、このように完全な形で発見されることは非常に珍しいことです。また、高さがわずか2.7cmという全国的に見ても極めて小さく、なおかつ出土例が少ない縄文時代前期後半のものであるため、たいへん貴重な資料といえます。土偶を研究する上で欠くことのできない資料とされ、日本各地の博物館で展示された実績を有しています。

天然記念物

正圓寺のドウダンツツジ 1株

ドウダンツツジは、本州中部、四国、九州に自生する落葉低木です。樹皮は暗紅褐色で平滑、光沢があります。枝は細く輪生し、分岐した小枝の長さは不同です。成長がやや遅いものの、強い萌芽力をもっており、開花期は4～5月、つぼ状で白色の花を咲かせ、葉は秋に紅葉します。関東では庭樹として用いられています。

「正圓寺のドウダンツツジ」の樹形及び大きさは、頂端がドーム状の円柱形で、樹高約4.0m、枝張り東西約5.0m、南北約5.2mと全体的にバランスが良いものです。これは、生育環境が良好で、日照にも恵まれていることによるものでしょう。また、株の大きさなどから、この地方に植栽されている同種に比較して他に抜き出ており、樹木学上の価値も高いものといえます。



文化財防火デー

法隆寺金堂壁画が焼損した昭和24年1月26日にちなみ、文化財を火災、震災その他の災害から守るため、1月26日を「文化財防火デー」と定め、毎年、この日を中心として全国的に文化財防火運動が実施されています。第48回の今年、さいたま市では1月24日(木)～26日(土)の3日間、地元消防団や近隣自治会の方々との御協力により、下記の文化財所在場所及び文化財関連施設5カ所で防火訓練が実施されました。(①は24日、②・③は25日、④・⑤は26日に実施)

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| ①旧坂東家住宅見沼くらしっく館 | 通報訓練・防火設備点検・初期消火訓練・避難誘導訓練 |
| ②永福寺(大字神田) | 通報訓練・初期防火訓練・防御訓練・市民対応訓練等 |
| ③さいたま市立博物館 | 通報訓練・防火設備点検・避難誘導訓練 |
| ④氷川神社(本太4丁目) | 通報訓練・初期消火訓練・防御訓練・市民対応訓練等 |
| ⑤吉祥寺(大字中尾) | 通報訓練・初期消火訓練・防御訓練・市民対応訓練等 |



消火訓練(本太氷川神社)



初期消火訓練(吉祥寺)

中里前原遺跡調査見学会

平成14年2月5日(火)、大戸小学校の4年生、6年生総勢160名は、「中里前原遺跡」の発掘現場を見学しました。

この発掘調査は、大戸小学校東側の歩道拡幅工事に伴うもので、2月4～6日に実施しました。

発掘調査では、縄文、弥生時代の住居跡や土器、石器が発見されましたが、児童たちは、熱心に調査員の説明に耳を傾け、興味深げに出土土器をのぞき込んだり、土を触ったりして、様々な質問をしていました。



文化財保護日誌

- 13.12.14 下大久保新田遺跡確認調査
資料貸出(弥生時代の銅鏡・銅鉄)
- 12.17 小村田東遺跡確認調査
道祖土後原遺跡確認調査
御蔵山中遺跡確認調査
文化財調査(南中丸のアカガシ)
- 12.19 木崎二丁目遺跡確認調査
- 12.20 会ノ谷遺跡確認調査
宮本遺跡確認調査
- 12.21 五味貝戸貝塚整備
- 12.25 B-55号遺跡確認調査
宿宮前遺跡確認調査
- 12.26 梅所遺跡確認調査
大間木内谷遺跡確認調査
琵琶島貝塚確認調査
- 12.27 文化財調査(南中丸のアカガシ)
- 14.1.7 宿宮前遺跡発掘調査(～1/9)
小村田東遺跡発掘調査(～1/10)
- 1.8 B-35号遺跡確認調査
- 1.9 小井戸西遺跡確認調査
上大久保新田遺跡確認調査
- 1.10 根岸遺跡確認調査
前窪遺跡確認調査
- 1.11 根岸遺跡確認調査
- 1.15 大東一丁目遺跡確認調査
- 1.16 善前南遺跡確認調査
善前北遺跡発掘調査
- 1.17 大谷口向原北遺跡発掘調査
- 1.22 櫛引町渋谷家調査
- 1.24 文化財調査(田島ヶ原サクラソウ自生地)
文化財防火デー防火訓練(旧坂家住宅見どころしく館)
- 1.25 大在家遺跡確認調査
大谷口向原東遺跡発掘調査
文化財防火デー防火訓練(永福寺・市立博物館)
- 1.26 文化財防火デー防火訓練(吉祥寺・本太氷川神社)
- 1.28 A-58号遺跡確認調査
和田北遺跡確認調査
- 1.29 新畑遺跡確認調査
茗花遺跡確認調査
文化財調査(廓信寺欄間)
- 1.30 原山西原遺跡確認調査
- 1.31 太田窪新田遺跡確認調査
- 2.4 中里前原遺跡発掘調査(～2/6)
札之辻3号遺跡確認調査
- 2.5 西裏北遺跡確認調査
三室西宿遺跡確認調査
中里前原遺跡調査見学会(大戸小学校)
- 2.6 中川八幡遺跡確認調査
文化財調査(氷川参道の並木)
- 2.7 木崎一丁目遺跡確認調査
- 2.7 三室北宿西遺跡確認調査
- 2.8 神田作田遺跡確認調査
- 2.12 A-80号遺跡確認調査
宮本遺跡確認調査
- 2.13 日向北遺跡確認調査
- 2.14 B-35号遺跡確認調査
- 2.15 芝原遺跡確認調査
- 2.18 瀬ヶ崎前島遺跡確認調査
大木戸遺跡確認調査
- 2.19 札之辻1号遺跡確認調査
文化財調査(田島ヶ原サクラソウ自生地)
- 2.20 鷺山遺跡確認調査
札之辻3号遺跡発掘調査(～3/15)
- 2.21 第2回文化財保護審議会
- 2.22 錦乃原桜草園芽分け作業
- 2.25 本太安藤家調査
- 2.26 三室北宿西遺跡確認調査
南部地区文化財担当者会議出席(和光市)
- 2.28 原山北原遺跡確認調査
B-13号遺跡確認調査
- 3.1 八王子前原遺跡確認調査
南5号遺跡確認調査
文化財調査(景元寺のシイノキ・田島ヶ原サクラソウ自生地)
- 3.4 文化財調査(田島ヶ原サクラソウ自生地)
A-18号遺跡確認調査
- 3.6 文化財調査(見沼通船堀)
- 3.7 文化財調査(見沼通船堀)

ひとこま
一語ひとこま

平成14年2月22日(金)、錦乃原桜草園では、保存会の方々20名によって「錦乃原」種の桜草植え付け作業が行われました。



さいたま市文化財時報

榎りぼーと 第4号

平成14年3月29日

〈編集・発行〉

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課

☎336-8633 さいたま市常盤6-4-4

☎048-829-1721